



1.第1回 リスクマネージャー交流会 開催報告

テーマ : 医療安全研修企画の悩みを解消しよう
 開催日時 : 2016年 6月4日(土) 13:30~16:30
 会場 : 姫路商工会議所
 参加者 : 17名



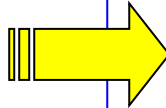
《取り組み紹介》

医療安全担当者にとって、年2回の全職種対象の医療安全研修会の職員の参加率の悩みは大きいものです。今回の交流会では、医療安全研修テーマの選択、研修方法、開催方法、評価方法などについて、2施設の取り組みを共有しましたので、その一部を紹介します。

◆姫路中央病院 医療安全管理者 高島真紀子氏

医療安全研修会開催の悩み

- 1回に100~200名の参加者のため、グループワークやゲームを取り入れることが困難
- 講義形式となりマンネリ化
- 質疑応答がほぼ皆無
- 職種が多様なため研修テーマに難渋
- 研修場所に悩む
- 外部講師の招聘の費用の問題
- 医師の参加率の低迷



- 小集団での研修会でグループワークやゲームを取り入れる例)
 - Team STEPPS : 年3回、定員36名
 - RCA分析 : 年2回、定員36名
- テーマによって、院外講師と院内講師の選択
- アンケートの意見をもとに、研修内容を考案

※研修資料より抜粋

◆HI播磨病院 医療安全管理室副室長 原田美保氏

診療技術部門・看護部 2015年度医療安全対策の目標

部門	目標	目標値	行動計画	中間評価	最終評価	達成の目標
薬剤科	薬剤師による「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②薬剤師の負担軽減 ③患者への説明 ④薬剤師の負担軽減 ⑤薬剤師の負担軽減	0	- 処方箋を後ろから読む - 自分の中で確認したものを薬剤師に注意メールを送る - 薬剤師の負担軽減を推進する - 薬剤師の負担軽減のための対策を講じる	0	- 薬剤師による「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②薬剤師の負担軽減 ③患者への説明 ④薬剤師の負担軽減 ⑤薬剤師の負担軽減	0
放射線科	放射線科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②放射線科の負担軽減 ③患者への説明 ④放射線科の負担軽減 ⑤放射線科の負担軽減	0	- 放射線科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②放射線科の負担軽減 ③患者への説明 ④放射線科の負担軽減 ⑤放射線科の負担軽減	0	- 放射線科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②放射線科の負担軽減 ③患者への説明 ④放射線科の負担軽減 ⑤放射線科の負担軽減	0
検査科	検査科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②検査科の負担軽減 ③患者への説明 ④検査科の負担軽減 ⑤検査科の負担軽減	0	- 検査科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②検査科の負担軽減 ③患者への説明 ④検査科の負担軽減 ⑤検査科の負担軽減	0	- 検査科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②検査科の負担軽減 ③患者への説明 ④検査科の負担軽減 ⑤検査科の負担軽減	0
臨床工学技士	臨床工学技士に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②臨床工学技士の負担軽減 ③患者への説明 ④臨床工学技士の負担軽減 ⑤臨床工学技士の負担軽減	0	- 臨床工学技士に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②臨床工学技士の負担軽減 ③患者への説明 ④臨床工学技士の負担軽減 ⑤臨床工学技士の負担軽減	0	- 臨床工学技士に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②臨床工学技士の負担軽減 ③患者への説明 ④臨床工学技士の負担軽減 ⑤臨床工学技士の負担軽減	0
リハビリ科	リハビリ科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②リハビリ科の負担軽減 ③患者への説明 ④リハビリ科の負担軽減 ⑤リハビリ科の負担軽減	0	- リハビリ科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②リハビリ科の負担軽減 ③患者への説明 ④リハビリ科の負担軽減 ⑤リハビリ科の負担軽減	0	- リハビリ科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②リハビリ科の負担軽減 ③患者への説明 ④リハビリ科の負担軽減 ⑤リハビリ科の負担軽減	0
栄養科	栄養科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②栄養科の負担軽減 ③患者への説明 ④栄養科の負担軽減 ⑤栄養科の負担軽減	0	- 栄養科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②栄養科の負担軽減 ③患者への説明 ④栄養科の負担軽減 ⑤栄養科の負担軽減	0	- 栄養科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②栄養科の負担軽減 ③患者への説明 ④栄養科の負担軽減 ⑤栄養科の負担軽減	0
医務課	医務課に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②医務課の負担軽減 ③患者への説明 ④医務課の負担軽減 ⑤医務課の負担軽減	0	- 医務課に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②医務課の負担軽減 ③患者への説明 ④医務課の負担軽減 ⑤医務課の負担軽減	0	- 医務課に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②医務課の負担軽減 ③患者への説明 ④医務課の負担軽減 ⑤医務課の負担軽減	0
クラーク科	クラーク科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②クラーク科の負担軽減 ③患者への説明 ④クラーク科の負担軽減 ⑤クラーク科の負担軽減	0	- クラーク科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②クラーク科の負担軽減 ③患者への説明 ④クラーク科の負担軽減 ⑤クラーク科の負担軽減	0	- クラーク科に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②クラーク科の負担軽減 ③患者への説明 ④クラーク科の負担軽減 ⑤クラーク科の負担軽減	0
地域連携課	地域連携課に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②地域連携課の負担軽減 ③患者への説明 ④地域連携課の負担軽減 ⑤地域連携課の負担軽減	0	- 地域連携課に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②地域連携課の負担軽減 ③患者への説明 ④地域連携課の負担軽減 ⑤地域連携課の負担軽減	0	- 地域連携課に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②地域連携課の負担軽減 ③患者への説明 ④地域連携課の負担軽減 ⑤地域連携課の負担軽減	0
看護部	看護部に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②看護部の負担軽減 ③患者への説明 ④看護部の負担軽減 ⑤看護部の負担軽減	100%	- 看護部に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②看護部の負担軽減 ③患者への説明 ④看護部の負担軽減 ⑤看護部の負担軽減	100%	- 看護部に関する「間違いQ」を目標とする ①患者安全 ②看護部の負担軽減 ③患者への説明 ④看護部の負担軽減 ⑤看護部の負担軽減	100%

部門ごとに、医療安全に対する取り組みを立案し、評価している
 (文字が小さいため興味のある方は発行元にお問い合わせください)

- 研修会の年間予定を立て、各部門で参加状況を一覧にしている
- 今後の活動は、参加者の増加をめざし、セミナー回数の増加
開催時間の検討
セミナーテーマの検討

※研修資料より抜粋

研修後のアンケート結果と自由記載

他施設の取り組みを参考に自施設にも取り入れることができる。参加しやすい雰囲気でも充実した交流会であった。いい取り組みなのでもっと多く参加してほしいなど。まずまずの評価でした。

2.施設の取り組み紹介 (T病院)

1件の針刺し事故報告書がきっかけで、静脈留置針の変更をしました。

針刺し事故の原因) なぜ安全機能が作動しない? ⇒ ボタンを押して安全機能を作動させるアクティブセーフティであった・・・ボタンを押さなかった、押しても十分に安全機能が作動しないことがある

その他、気になる点はなに? ⇒ デバイスを接続するときに、先端が不潔にならないようにしてほしい

⇒ カテーテルを穿孔してしまう恐れがあるのに、血管内でつい内針を出し入れしてしまう

⇒ 患者さんの腕の角度により、カテーテルが屈曲してしまい滴下がとまってしまう

当院が採用した静脈留置針の特長 (※ ヒー・ブラウンエスクラブ社のイントロカンセーフティ3)



輸液ラインの先端部が皮膚に接触しにくい設計である

- ・皮膚を圧迫しにくいので皮膚トラブルが減少
- ・輸液ラインが皮膚に接触しないので感染予防になる

デバイスの接続の際に接続部を触らずに接続できるため感染予防になる



針刺し事故を効果的に防ぐパッシブセーフティ

ラウンドエッジハブによりカテーテルキンクをおこしにくい

しかし、全員が好評価している訳ではないため、研修会を何度も行いました。針のキレが悪いという意見に対しては、針の構造による穿刺角度や穿刺方法を説明し、その他、デバイスの接続方法や手洗い、針捨てボックスの携帯、穿刺後の観察について研修しました。根拠を理解してもらうことで、手技や手順の意味を理解し、針刺し事故だけでなく、ルールの遵守という大切なことが守られるようになりました。医療事故防止のために、良い製品を導入すれば終わりではなく、それを正しく使用し続けことが大切です。そのためには、根拠をしっかりと教育する事が大切だと学びました。私たちにとっても大きな収穫となりました。

H28年度 リスクマネージャー交流会予定

H28年10月1日(土曜日) 13:30~16:30

テーマ: 第2回 認知症と医療安全

講師: 姫路聖マリア病院 認知症看護認定看護師 伊藤大輔氏

H29年3月4日(土曜日) 13:30~16:30

テーマ: 第3回 医療安全管理者の活動事例の共有



発行元: 兵庫県看護協会西播支部 医療安全委員会
事務局: 姫路聖マリア病院 医療安全管理室 平野ひとみ
電話: 079-265-5350
FAX: 079-265-5350
e-mail: m-s-p@himemaria.or.jp

